

令和7年度
滝川第二中学校 入学考査 問題

A 2 日程

算 数

(40分・100点)

注 意 事 項

- 1 問題は1ページから8ページまであります。
- 2 解答は、すべて解答用紙の^{わくない}枠内に記入しなさい。
- 3 円周率は、3.14とします。
- 4 比を求めるときは、もっとも簡単な整数の比で答えなさい。
- 5 「開始」の合図があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- 6 受験番号と氏名を、解答用紙と問題冊子の表紙に正しく記入しなさい。
- 7 「終了」の合図で筆記用具を置き、^{かんとく}監督の先生の指示に従いなさい。

受験番号	氏 名
—	

1 次の にあてはまる数を求めなさい。

(1) $6 + 96 + 996 + 9996 + 99996 =$

(2) $\left\{ \left(1\frac{2}{3} + \frac{5}{12} \times 0.5 \right) - 1\frac{1}{4} \div 5 \right\} \div 1.3 =$

(3) $225 \times 225 - 11 \times 11 =$

(4) $\frac{1 + \text{}}{\frac{1}{1\frac{1}{4}}} = 4$

(5) $280\text{mL} + 3.4\text{L} - 1.2\text{dL} + 0.005\text{m}^3 =$ dL

【計算用紙】

2 次の各問いに答えなさい。

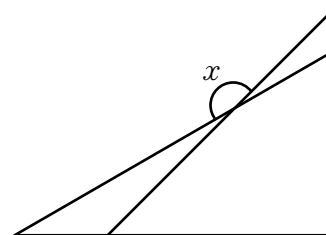
(1) 8%の食塩水が300gあります。これに何gの食塩を加えると20%の食塩水が作れますか、答えなさい。

(2) 7時50分に家を出発して駅まで向かうのに、分速60mで歩くと乗りたい電車の発車時刻に3分^{おく}遅れますが、分速90mで歩くと乗りたい電車の発車時刻より5分早く着きます。このとき、乗りたい電車の発車時刻は何時何分ですか、答えなさい。

(3) $\frac{1}{165}, \frac{2}{165}, \frac{3}{165}, \dots, \frac{163}{165}, \frac{164}{165}$ の164個の分数のうち、約分ができる分数は何個ありますか、答えなさい。

(4) ある中学校の1年生が長いすに座っていくとき、1脚に6人ずつ座ると11人が座れません。また、1脚に9人ずつ座ると、2人だけ座った長いすが1脚と、誰も座らない長いすが2脚できます。このとき、生徒は何人いますか、答えなさい。

(5) 右の図は、1組の三角定規を組み合わせたものです。 x の角度は何度ですか、答えなさい。



【計算用紙】

- 3 花子さんと太郎さんは先生と一緒^{いっしょ}に 2025 年 4 月のカレンダーをみて話をしています。次の各問に答えなさい。

2025 年 4 月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

先生：「花子さん、太郎さん。カレンダーの日付の中から好きな数字を選んで、その数字とその数字の上下左右の数字を足してみてください。」

太郎さん：「じゃあ、8 を選びます。」

花子さん：「そうすると上下左右の数字は 1 と 7 と 9 と 15 になるから、全部足してみると、 $1 + 7 + 8 + 9 + 15$ で…」

太郎さん：「40 になるね。」

先生：「では、その数を 5 で割ってみてください。」

花子さん：「8 になりました。」

先生：「何か気づくことはありませんか？」

太郎さん：「最初に選んだ数字になっています。」

花子さん：「本当だ。ほかの数字を選んでもできるのかな？」

- (1) 花子さんと太郎さんは最初に選んだ数字を当てるゲームをすることにしました。次の会話文の にあてはまる数字を答えなさい。

花子さん：「私が選んだ数字と、その数字の上下左右の数字を足した数は 115 になりました。」

太郎さん：「じゃあ、花子さんの選んだ数字は だね。」

(2) 次の会話文の , にあてはまる曜日を, それぞれ漢字で答えなさい。

太郎さん:「先生, 他に面白い規則はありませんか。」

先生:「先ほど注目したものはカレンダーの数字でしたが, 今度は曜日に注目してみましょう。

2025年5月30日は何曜日になるでしょうか?」

太郎さん:「2025年5月1日が木曜日で…」

先生:「それでも答えられますが, せっくなので計算して求めてみましょう。それぞれの曜日の日にちを7で割ったときの余りに注目してみてください。」

花子さん:「じゃあ, 火曜日の数字に注目してみよう。

$1 \div 7$ は0あまり1で, $8 \div 7$ は1あまり1で, $15 \div 7$ は2あまり1で…。余りが同じになるね。」

太郎さん:「それぞれの曜日が, 7で割ったときの余りが同じになるように並んでいるんだね。」

花子さん:「ということは, 2025年5月30日は 曜日になるね。」

先生:「そうですね。では2026年4月1日は何曜日になりますか?」

太郎さん:「 曜日です。」

(3) 太郎さんは, カレンダーについて花子さんと先生と話したことを思い出しながら, 日付と曜日の関係を考えることにしました。太郎さんの誕生日である11月10日は, 2024年では日曜日でしたが, 次に11月10日が日曜日になるのは2024年からみて何年後ですか, 答えなさい。ただし, うるう年も考えることとします。

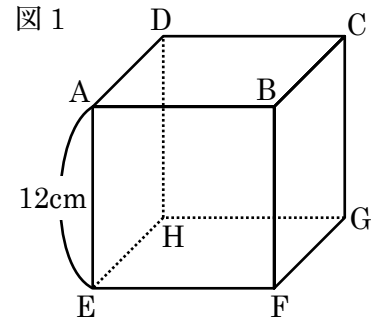
4 0, 1, 2, 3, 4, 5 の 6 枚のカードの中から 3 枚のカードを選んで 3 けたの整数を作ります。このとき、次の各問いに答えなさい。

(1) 3 けたの整数は全部で何個できますか、答えなさい。

(2) 3 けたの偶数は全部で何個できますか、答えなさい。

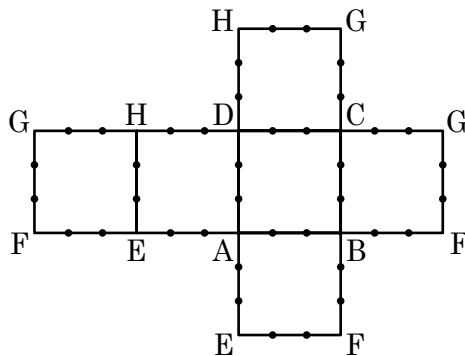
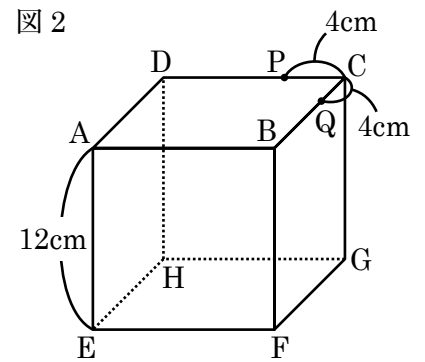
(3) 3 けたの整数で、3 の倍数は全部で何個できますか、答えなさい。

5 右の図1, 2のように, 1辺の長さが12cmの立方体があります。次の各問いに答えなさい。ただし, 三角すい, 四角すい, 円すいの体積は, それぞれ底面積と高さが等しい三角柱, 四角柱, 円柱の体積を3で割ったものに等しくなります。



(1) 3点D, B, Eを通る平面で, この立方体を2つの立体に切り分けます。このとき, 頂点Aをふくむ方の立体の体積は何 cm^3 ですか, 答えなさい。

(2) 次に, $CP = CQ = 4\text{cm}$ となるように辺CD上に点Pを, 辺BC上に点Qをそれぞれとり, 3点P, Q, Hを通る平面で, この立方体を2つの立体に切り分けました。このとき, 切り口の線の様子を解答用紙の展開図にかき込みなさい。ただし, 展開図の黒点は各辺を3等分したものであるとします。



(3) (2)のとき, 小さい方の立体の体積は何 cm^3 ですか, 答えなさい。

